

弁護士

清源 万里子

# 私の紙面批評

子ども新聞「GODOジュニア」を紹介する「子ども司書のキラユニア」を毎回楽しみにし「リ☆本」など、小学生が参加する企画も多く、子ども行で有料だったが、NIEが親しみやすいよう随所に（ニュースペーパー・イン 工夫が感じられる。エデュケーション教育 27号（昨年12月9日付）に新聞を）の推進を目指しでは「子どもの貧困7人にて2016年11月にリニュー1人」の見出しで、貧困の1アルし、月2回（第2、影響を取り上げていたが、4土曜日）、本紙の全購読 関連して「子ども食堂」や者無料で届けられるようフードバンクといった支援活動も紹介して、記事 経済協力開発機構（OE

## 家族で読む子ども新聞



（きよもと・まりこ）1981年、中津市生まれ。2008年弁護士登録。11年大分県弁護士会入会。九州弁護士会連合会・犯罪被害者の支援に関する連絡協議会委員。現在子育て真っ最中。

GODOジュニアは、タの質は高い。プロイド判8でカラー。近年、学校教育で新聞を「イルカにも一重まぶたと教材として活用するNIE二重まぶたがある」といつの関心が全国的に高まりつつある。また、新聞の活用たユニークな情報を添えてつある。また、新聞の活用生き物を紹介する「生きもは若者の活字離れ対策として「ノート」など、写真が奇麗て注目されてもいる。GOで見やすい。漢字には読みDOジュニアには、子ども仮名が振られている。さまざまに新聞を通して社会のさまざまな職場で取材や職業体情報に接してほしいという熱意があふれている。子どもにも分かりやすく、子どもにも分かります、期待している。

CD)の「生徒の学習到達度調査(PISA)2009年」によると、子どもたちの総合読解力と新聞の閲読頻度には相関関係があるとされる。新聞の魅力は、インターネットとは異なり、興味の有無にかかわらず一目でさまざまな情報に触れられることだ。家族と新聞を読めば、対話も深まるだろう。小さい頃から新聞に親しむことで、読解力が養われ、興味の対象も広がると思う。未来を担う子どもは社会の宝。GODOジュニアの一層の充実を期待している。